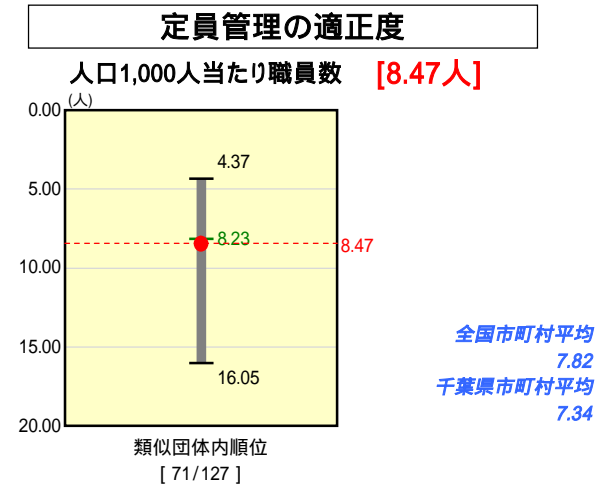
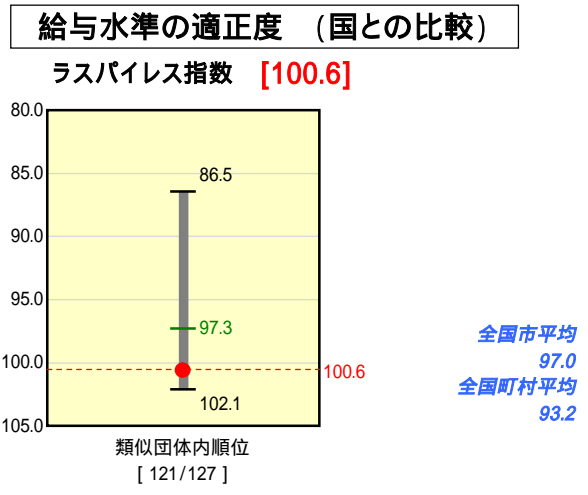
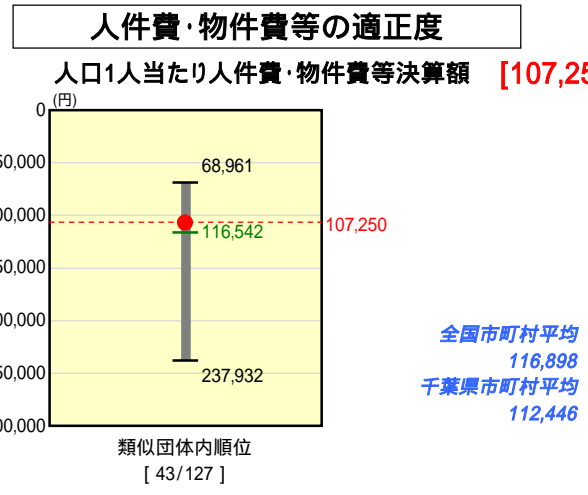
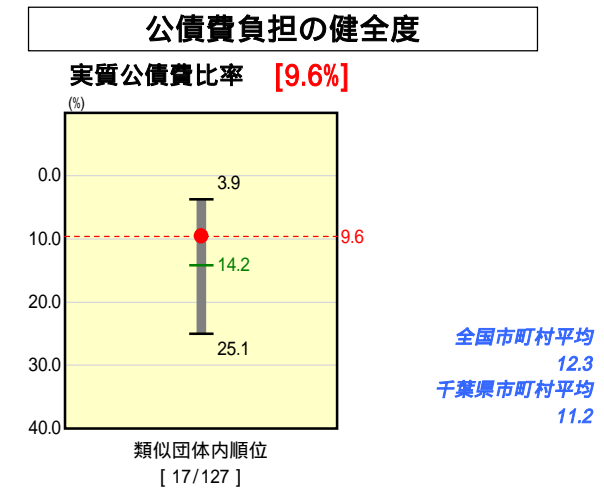
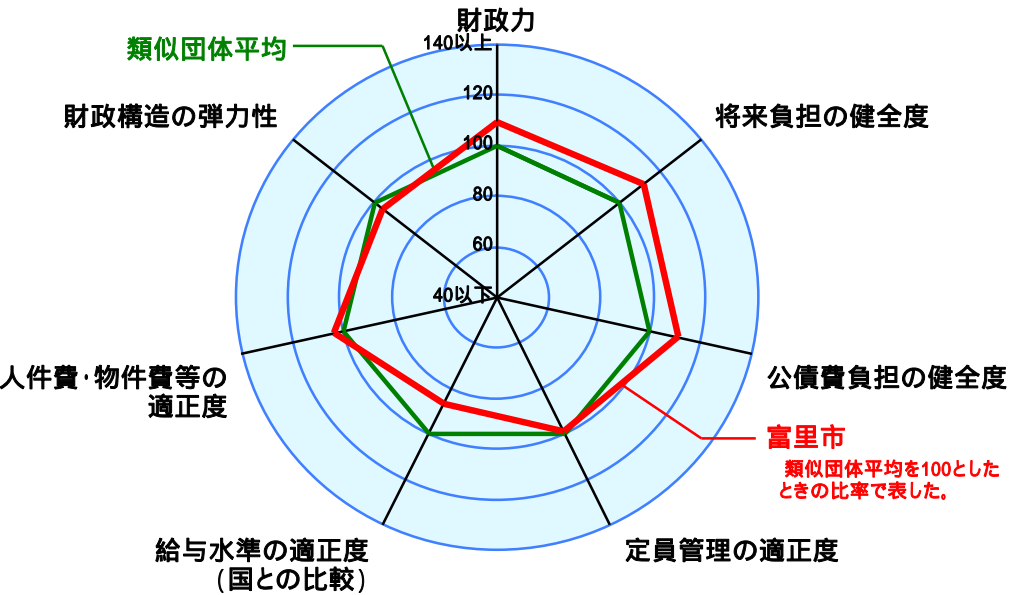
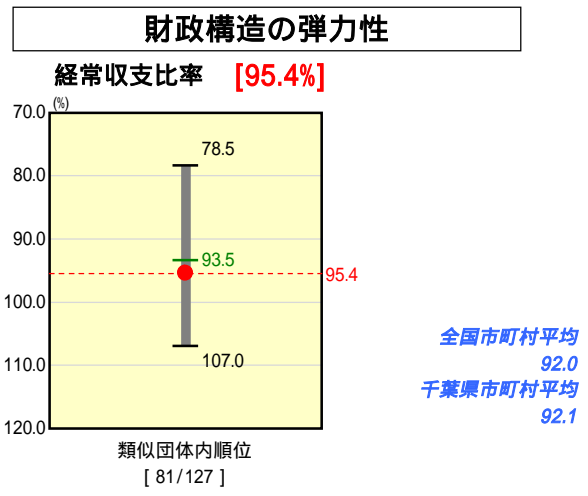
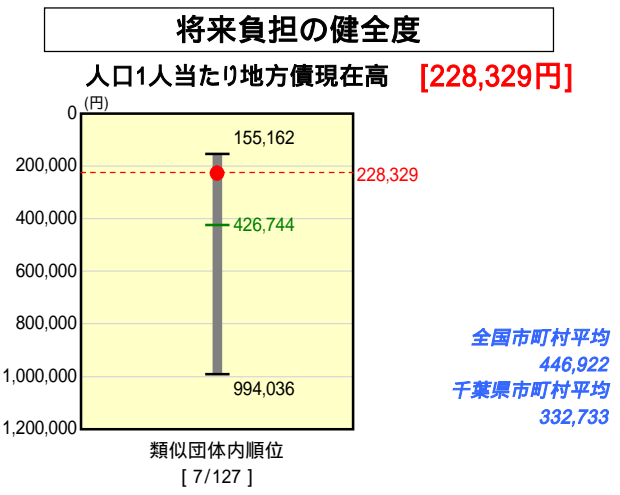
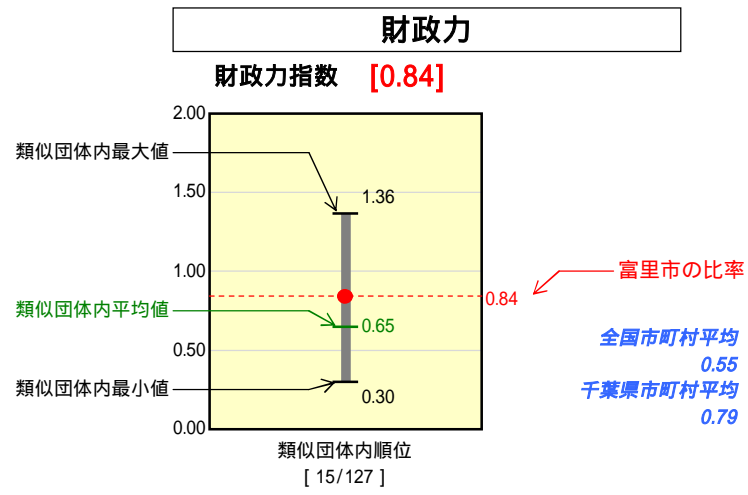


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

千葉県 富里市

人口	50,036 人(H20.3.31現在)
面積	53.91 km ²
歳入総額	12,427,344 千円
歳出総額	11,813,895 千円
実質収支	613,449 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

分析欄

財政力指数：ここ数年間は連続した伸びを見せており、0.836となっている。基準財政需要額は高齢者保健福祉費や社会福祉費等の増、臨時財政対策債の借入による公債費の増があるものの、義務教育施設整備事業債等の元利償還の減等による投資的な経費が減少傾向にある。基準財政収入額については景気低迷の影響があるものの、制度改正により個人市民税や法人市民税が増となり年々増加している。このことから財政力指数については類似団体平均値を上回っているが、国の地方交付税改革による影響が懸念されることから、引き続き行財政改革等を推進し、さらなる歳入の確保及び歳出の削減に努める。

経常収支比率：個人市民税が制度改正により増となったものの、所得課税及び減税補てん特例交付金の廃止が影響し、また公債費については償還金の終了に伴い、減少しているが、扶助費をはじめ、公営企業会計への繰出金が大幅な増加により95.4%と類似団体平均を上回っている。今後は集中改革プラン行動計画に基づき歳出の削減を継続させながら、歳出全般にわたる経費の見直しなど経常的な経費の削減を図り、さらなる歳入の確保に努める。

ラスパイレス指数：類似団体とは、職員の経験年数階層が異なることから平均を上回っている。数値は横ばいのため、より一層の給与の適正化に努める。

実質公債費比率：ごみ処理施設整備事業等の償還金の終了や、行政改革による市債発行の抑制により類似団体平均値を下回っている。今後とも世代間の負担の公平化と公債費負担の中長期的な平準化に配慮し、緊急度・優先度に基づく事業の選択を行い、健全な財政運営に努める。

人口1人当たり地方債現在高：ここ数年償還金の終了等や行政改革による市債の抑制策により類似団体と比較して低い水準となっている。今後、大規模事業により地方債の増加が見込まれるが、適量、適切な事業実施に努め、引き続き行政改革に基づき適正な水準を確保する。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額：類似団体内平均値は下回っている。今後も行政改革に取り組み、集中改革プランに基づき事務事業の見直し、各経費の節減、定員適正化計画に基づく人件費の適正化を図る。

人口1,000人当たり職員数：類似団体平均を若干上回っている。職員の削減が行政サービスの低下につながるよう、行政水準の向上を図り、組織体制を整備していく。また、職員定数については、削減目標を既に達成しているが、更なる定員管理の適正化に努める。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。